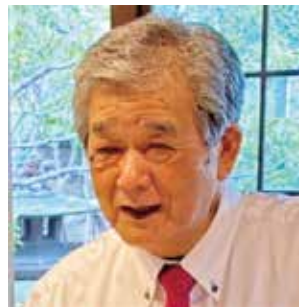




あなたのクラブのストーリーがここに始まる



「戦略計画の重要性と、その立て方」 山下 皓三 地区戦略計画委員会委員長 PG

2730地区において、すべてのクラブは戦略計画をたてることを要請されています。そこでロータリアン一人一人が戦略計画の重要性とその立て方への理解を深める為に、山下皓三 地区戦略計画委員会委員長（鹿児島西RC）にインタビューをおこないました。（月信委員会インタビュー 2020.9.12）



イメージ インタビュアー

月信 Qちゃん

Q=そもそもどうして私のクラブでも戦略計画を立てなければいけないの？

→例えば会社をうまく経営しようとする、①企業理念を定めて、②それに沿って中・長期的なビジョンを策定して、③ビジョンに従った具体的な目標を定めて、④それらが実現できているか定期的にチェックしますよね？ロータリーの戦略計画は、まさに会社経営のプロセスと同じなのです。

—RIの戦略計画の目的—

- 効果的な方策によって、あらゆるレベルで組織を強化すること。
- 組織を強化することでロータリーの価値観をずっと守ること。
- ロータリーに参加するすべての人が有意義で価値ある経験ができるようにすること。
- より大勢の人の暮らしと、地域社会をよくすること。



なるほど。「会社経営と同じ」だとイメージすれば、理解しやすいですね。

Q=では具体的に、私のクラブではどのようにして戦略計画が練られていくのですか？

→すべてのクラブに「**クラブ戦略計画委員会**」が設置されています。会長+直前会長+次年度会長+次々年度会長を含む、**継続性を重視した委員**で構成されていて、そこで**クラブの中期計画**が定められるのです。



Q=うーむ、それなら話も先に進みそう。では戦略計画をたてるうえでの「心得」を教えてください。

→企業が経営計画を立てるときは「企業理念」を大切にするように、ロータリーには「ロータリーの理念」があります。世界に広がる3万3千近くものロータリークラブが**結束して同じ方向に進み、ロータリーのブランドを守る**ためにも、**ロータリーの理念**をしっかりと理解したうえで、戦略計画をたててください。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

中核的価値観

- 奉仕
- 親睦
- 多様性
- 高潔性
- リーダーシップ

四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか



ハーバートJ.テラー

第1の標語 超我の奉仕

B・フランク・コリンズ



第2の標語 最もよく奉仕する者 最も多く報いられる

アーサー・フレデリック・シールドン



7つの活動分野

- 疫病との闘い
- 地域社会の発展
- 平和の推進
- 水と衛生
- 母子の健康
- 教育の支援
- 環境の保全



Q=ロータリーの理念を理解して先に進めますね。ここで戦略計画のプロセスを教えてください。
 現状分析 ⇒ ビジョンの策定 ⇒ 目標と行動計画 ⇒ 進捗状況の確認 ⇒ **元気なクラブづくり**
 ▶クラブの現状はどうか？ ▶▶クラブはどうあるべきか？ ▶▶▶クラブはどうなりたいのか？



Q=うーん、いきなり行動計画を立てられないの？ どうしてビジョンの策定は必要なの？
 →→いきなり行動計画を立てることはできません(^_^;) 人生設計もしかり、ビジョンなしに具体的な計画は立てられません。**クラブビジョンの策定**の必要性は以下のとおり。
 ■**クラブのあるべき姿を明確に**することにより、**クラブが繁栄**できる。
 ■**持続可能なクラブの方向性を明確に**できる。
 ■**クラブが定期的に自己を評価して、変化を受け入れられる。**



Q=なるほど、確かにビジョンは必要ですね。でもビジョンと言ってもイメージが湧かないのですが。
 →→それでは、とあるクラブのビジョンの実例や、**ビジョン策定の際のスキル**をお教えしましょう。

■Aクラブのビジョン(実例)

- 入会候補者とつながる
- 入会候補者情報を管理する
- 新会員が溶け込みやすい環境をつくる
- 活気あるクラブをつくる
- 時代に即したクラブにする

■Bクラブのビジョン(実例)

- ①地区内の中堅クラブを目指す
※会員増の為、具体的な目標値を示す
- ②奉仕活動は出来るだけ全員参加しよう
※若手会員を育てる
※奉仕活動の本質を考え活動する
今後この2つの活動目標を持続発展させる

ビジョン策定の際のスキル

- 会員の支持と参加を促し
意欲と適応力を高める
- クラブで会員満足度
アンケートを実施する

※ビジョンは理念ではありません。「ロータリーの理念」に沿ったビジョンを策定しましょう。



分かりました。みんなにアンケートを取って、私たちのクラブに合ったビジョンをつくります。
Q=そしていよいよクラブ目標を立てたいんですが、気を付けることは？
 →→**クラブの行動計画を立てる**ときには、**4つの戦略的優先事項**を反映したものにしましょう。

より大きなインパクト

参加者の基盤を広げる

参加者の積極的な関わり

適応力を高める

行動人が手を取り合い、価値観を同じくする者同士がつながり、世界と自分自身の中に持続可能な変化を生むために活動することで、「何が可能となるか」を、私たちは認識することができます。



Q=行動計画を立てたら、いざ奉仕！でも私のクラブは「サクセスストーリー」をつくれるかなあ？
 →→**6つの委員会がしっかり組織されて、連携を取って機能すれば**、ストーリーが形になります。

クラブ戦略計画を形にするためのCLPです

クラブ管理運営委員会

奉仕プロジェクト委員会

会員増強委員会

クラブの「ビジョンと行動計画」を形にする

公共イメージ委員会

ロータリー財団委員会

米山奨学会委員会

組織の密な連携がストーリーを生み出す ⇒ **地域社会への広報**によって、4つの優先事項がさらに高まる

Qちゃん
めっちゃ
感動！



山下先輩、優しく教えて下さりありがとうございました！

「ロータリーがしかるべき運命を切り開くには、私たちは常に進化し、時には革命的にならなければなりません」 (ポール・ハリスの言葉)



変化を受け入れ、世界や地域社会で認められる「元気なクラブづくり」を目指しましょう。私たちはクラブを成功に導くための元気なクラブづくりのリーダーです。

※「元気なクラブづくりのためのステップ」を最終ページに掲載いたしました。ガバナー月信7月号「戦略計画を立てましょう」も併せてご覧ください。